

# Mongolian Chopper

モンゴリアン・チョッパーのブレード=ワラチョッパーはその細長い形状ゆえにフックと絡みやすいという決定的欠点がありますが、実はそこにこそ意味があります。

他に例を見ない細長いブレードはそれだけでアドバンテージであり、さらにはそれなりの異質なサウンドも当然ながら併せ持ち、単にリトリブする以外にも工夫次第の様々なアクションでバイトが得られます。

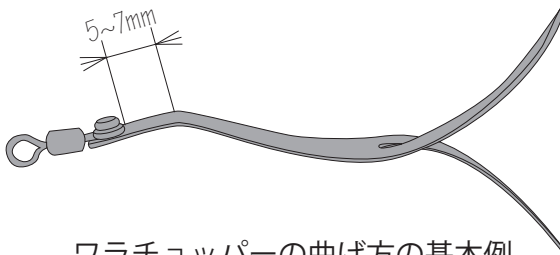
例えばポーズさせると、これが水中に長く垂れ下がってゆらゆらし、それだけで魚のリアクションを誘うのです。

また、ワラチョッパーは曲げ方によってサウンドが容易に変化するのも特徴。ただし、曲げ過ぎるとフックと絡みやすくなるので注意が必要です。

注1) ワラチョッパーは手曲げ加工ですので、ひとつひとつ曲がり具合が若干異なります。

注2) フックと絡むのはある程度避けられませんが、2~3度トゥイッチすると外せる場合があります。

注3) フックに頻繁に絡むと感じたら、曲げ具合を調整してみてください。ハトメの部分から5~7mm距離をとって曲げること、あまり曲げすぎないことがフックとの絡まりを防ぐコツです。



ワラチョッパーの曲げ方の基本例

